

合格者の枠は決めるな！ 努力した人を全て合格する制度に改めろ！

「令和元年度昇格計画数」業務委員会を開催

本部は5月23日「令和元年度昇格計画数」についての業務委員会を開催しました。

昇格人数について会社は、昨年と比べて若干多い4,140名（昨年度より210名増）で、有資格者の約4～5割が合格するとしています。

しかし、職場では「いくら努力しても合格しない」「後輩にどんどん追い越される」などの不平・不満が渦巻いています。これでは会社に従順な社員づくりのための昇格制度といえます。会社の言うことをハイハイ聞く社員がどんどん昇格するようなことは、絶対にあってはなりません。

社員の皆さんは安全・安定輸送のために、日々努力しています。怠けている社員はいないはずです。試験に合格するためには、努力だけでは足りないということです。もっともっと努力せよということです。

会社は、昇格試験の合格基準（具体的には筆記試験は〇点以上とか、勤務評価で△を行ったなど）は一切明らかにしません。シークレットなのです。明らかに差別というしかありません。また、合格者数に対するB年限の社員の割合を会社は明らかにしません。

皆さん、このような制度で良いのでしょうか？ JR東海労は、合格枠を撤廃し、努力した人は全員合格させること、C等級まではB年限を設けることを、会社に強く要求しました。